

普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)6月14日

所属名：湖東農産普及課

番号：F21003

部門分類：340 鳥獣害

発信者名：木村

多賀町八重練でサルの行動調査開始

6月12日に多賀町八重練区において、八重練区協議員会の協力のもとサルの侵入防止柵のうち通過が疑われるポイントにトレイルカメラを仕掛け、サルの行動について確認を始めました。

多賀町八重練は中山間地域で以前より野生獣被害が発生しており、平成21年度より国庫事業で侵入防止柵の設置が行われ一定の効果を上げていました。

しかしながらサル・イノシシによる被害が続発し、近年はサルによる食害が目立つようになり、多賀町でも多賀F1群の個体数調整事業に着手しています。

サルの個体数調整事業は集落でも待ち望んでいた対策ではありますが、個体数調整事業と合わせて集落側でもサル対策を行わない限り十分な効果は望めません。

現在、サルの追い払い等の対策は不十分で人材も不足しています。少ない人材で最大限効果を出すため集落ぐるみで対策を行う必要があります。

その第一歩として、サルがどのように侵入防止柵を越えているのか、4か所にトレイルカメラを仕掛けて調査をすることとなりました。この調査結果をもとに、現在不備のあるサル対策を補完していき、サルの個体数調整事業と合わせて被害を軽減していく計画です。

当課では獣害対策に取り組む集落への支援を進めており、今後も獣害対策に取り組む集落と共に対策を進めていきます。



トレイルカメラを仕掛ける集落役員



送水管を渡るサルの行動調査

